

市川市鳥類モニタリング調査報告書

2024 年度



フクロウ 江戸川河川敷 2024 年 12 月 17 日

市川市環境部自然環境課

2025 年 6 月

目 次

1.	はじめに	1
2.	調査地	1
3.	調査方法	1
4.	調査結果	
4-1.	調査地全体	1
4-2.	大町自然観察園	3
4-3.	大野町 4 丁目水田	4
4-4.	大野町 4 丁目ふれあい水田(小川再生親子ふれあい農園)	6
4-5.	こざと公園	7
4-6.	大柏川第一調節池緑地	9
4-7.	柏井調整池	11
4-8.	柏井青少年の森	12
4-9.	小塚山公園	13
4-10.	堀之内貝塚公園	14
4-11.	じゅん菜池緑地	15
4-12.	国分川調節池緑地	18
4-13.	真間山・弘法寺周辺	20
4-14.	里見公園	21
4-15.	江戸川河川敷	23
4-16.	JR 市川駅周辺	25
5.	レッドデータ掲載種	26
6.	外来種について	27
7.	摘要	27

添付資料

- ・調査地別レッドデータ種の出現状況
- ・調査地別の総出現種と個体数

1. はじめに

鳥類モニタリング調査は 2015 年 7 月より実施しています。本報告書は 2024 年 4 月から 2025 年 3 月までの 1 年間の調査結果をまとめたものです。

調査地概要や調査方法については従来通りなので、記述を省略しました。調査地の環境変化については、年度内に確認された環境の変化を記載しました。

各調査地の調査結果の中に【特記】の項を設け、興味深い観察事象について記載しました。調査日以外で、調査地で確認した興味深い記録は末尾に＜調査日外＞と付記しました。

なお、2024 年 9 月に日本産鳥類目録改定第 8 版が発行されたので、本報告書はこれに準拠しました。

2. 調査地

従来通り、15 か所の調査を行いました。

3. 調査方法

従来通り、ラインセンサス法により行いました。

4. 調査結果

4-1. 調査地全体

出現種類数の変化

2024 年度に確認された鳥類は 77 種類で、調査地全体でみると例年と大きな変化はありません。個々の調査地についてのコメントは、各調査地の項に記載します。

新たに記録された種は、江戸川河川敷で記録されたヒメアマツバメです。また、改定第 8 版では、サンショクイの亜種とされていたリュウキュウサンショクイが、別種として独立種となりました。よって、2015 年 7 月以降の調査により、調査地全体で 120 種類が記録されたことになります。

外来種のガビチョウとワカケホンセイインコが新たに記録されました。

表 1 調査地別記録種類数の変化

確認種類数（単位：種）										
調査地	2015年度※	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
大町公園	36	30	34	28	27	31	34	28	32	28
大野町4丁目水田	16	19	25	20	18	17	16	20	16	13
大野町4丁目ふれあい水田	16	20	24	22	17	17	20	23	21	20
こざと公園	23	25	25	26	29	28	27	25	28	25
大柏川第一調節池緑地	41	46	46	49	43	38	44	43	41	43
柏井調整池	17	22	17	16	12	13	14	17	7	9
柏井青少年の森	21	25	20	23	24	30	29	23	24	21
小塚山公園	17	25	20	19	21	21	16	19	17	18
堀之内貝塚公園	22	24	22	23	21	20	17	22	21	19
じゅん菜池緑地	35	39	39	39	46	38	36	41	37	38
国分川調節池緑地	38	43	42	41	41	39	42	37	35	39
真間山・弘法寺周辺	17	25	23	23	23	24	21	20	18	18
里見公園	24	25	23	25	23	29	28	28	25	29
江戸川河川敷	37	44	46	43	44	35	46	47	47	47
J R市川駅前	8	8	8	5	10	8	9	10	7	10
調査地全体種類数	74	79	75	80	80	79	80	75	80	77
※2015年度は7月より実施										

出現個体数の変化

調査地全体で出現した個体数は 10,881 羽でした。近年としては個体数が少なくなりました。じゅん菜池緑地のヒドリガモの個体数減少による影響が大きかったようです。じゅん菜池緑地のカモ類については、当該調査地の項に記載します。

表 2 調査地別記録個体数の変化

確認個体数（単位：羽）										
調査地	2015年度※	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
大町公園	717	1,105	1,006	1,174	1,263	1,500	1,427	1,225	1,278	1,172
大野町4丁目水田	238	181	245	156	292	363	280	75	97	105
大野町4丁目ふれあい水田	394	309	401	395	274	355	644	443	216	305
こざと公園	502	604	642	540	508	509	527	506	553	704
大柏川第一調節池緑地	763	1,090	1,243	969	1,327	1,070	1,272	1,100	1,233	1,141
柏井調整池	321	354	251	238	126	140	95	101	43	46
柏井青少年の森	394	658	669	720	981	1,048	1,175	988	1,081	1,095
小塚山公園	189	390	355	374	414	669	523	511	469	463
堀之内貝塚公園	311	403	590	658	581	622	618	583	699	545
じゅん菜池緑地	1,814	2,067	2,026	1,928	2,031	2,113	2,257	2,210	2,210	1,717
国分川調節池緑地	1,186	1,132	1,670	1,536	1,768	1,186	1,595	1,292	1,065	1,311
真間山・弘法寺周辺	396	583	601	787	531	570	787	517	733	718
里見公園	506	800	538	752	836	921	739	798	891	729
江戸川河川敷	699	1,071	1,055	733	978	855	1,250	1,092	978	699
J R市川駅前	84	90	117	77	111	164	144	90	178	131
調査地全体種類数	8,514	10,837	11,409	11,037	12,021	12,085	13,333	11,531	11,724	10,881
※2015年度は7月より実施										

4-2. 大町自然観察園

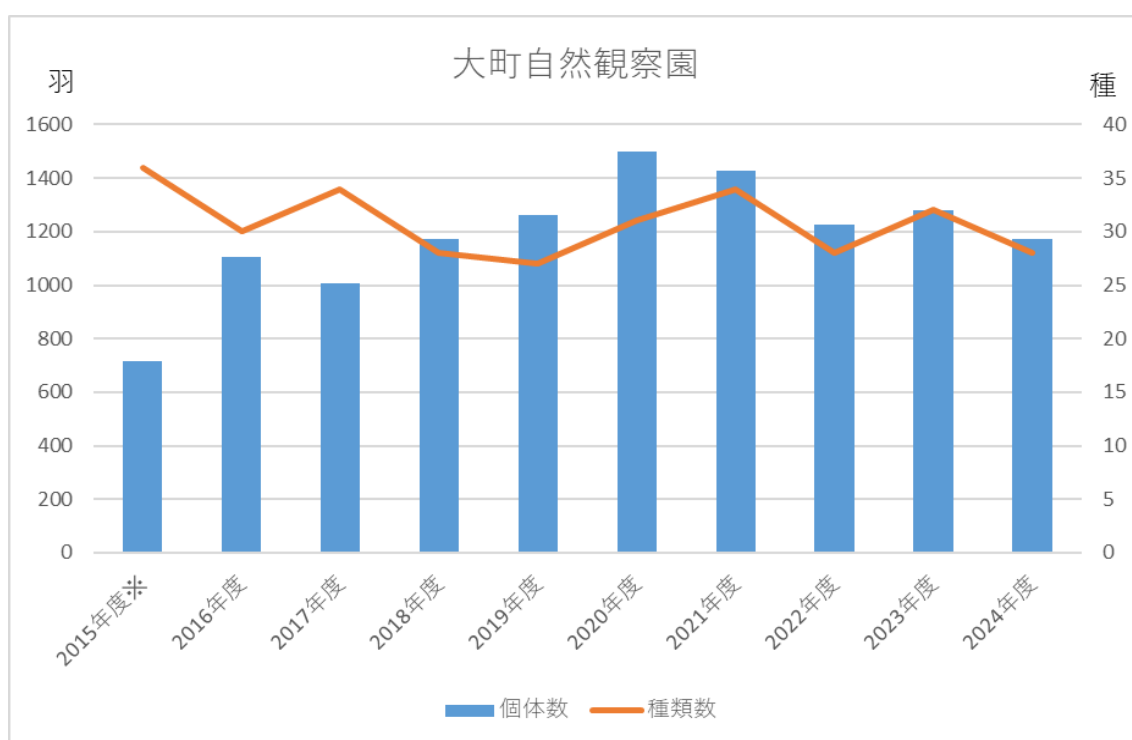
調査地の環境変化

2019年から発生したナラ枯れにより斜面林のコナラが枯れ、随時、伐採・撤去が行われていましたが、現在は新たに枯れるコナラはほとんどありません。樹林環境改善のための西側斜面林の下草・低木の刈払いは引き続き行われました。

調査結果

28種1,154羽の鳥類が確認されました。種類数・個体数とも例年と大きな変動はありませんでした。

図1 種類数と個体数の変化（大町自然観察園）



【特記】

- ・ 6月4日：キビタキが「ジッ、ジッ」と鳴いていました。幼鳥を連れていた可能性があります。
- ・ 6月4日：ヤマガラの子鳥が虫のようなものを捕らえて食べていました。
- ・ 10月4日：シジュウカラ・メジロ・コゲラが混群を形成していました。混群の中にキビタキのメスタイプが1羽混じっていました。
- ・ 11月13日：多くのムクドリが確認されました。82羽確認。
- ・ 2月7日：枯れたアシ原で、メジロとシジュウカラの群れが一生懸命餌を探していました。



アシで採餌するメジロ：2025 年 2 月 7 日



キセキレイ：2025 年 3 月 5 日



ルリビタキ雌：2024 年 12 月 6 日



ヤマガラの子鳥：2024 年 6 月 4 日

4-3. 大野町 4 丁目水田

調査地の環境変化

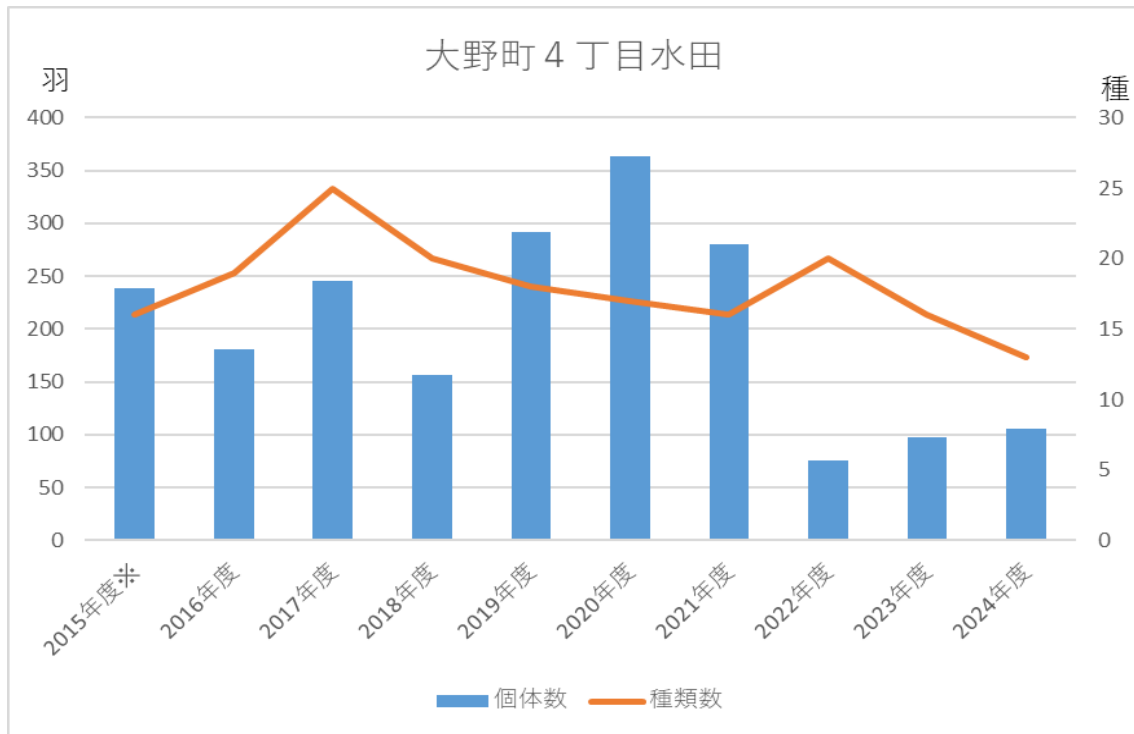
調査区域で建設中だったドライブインが完成しました。

調査結果

13種105羽の鳥類が確認されました。単年度の確認種類数としては最小だった昨年度の16種から、さらに減少しました。個体数も105羽で少ない状況のままです。

当調査地面積の1/3程が開発されたことから、当然の結果ともいえます。

図2 種類数と個体数の変化（大野町4丁目水田）



【特記】

- ・3月18日：草地で、40羽ほどのスズメが餌を探していました。
- ・5月17日：田んぼでコチドリ1羽が、泥の中から赤虫(?)のようなものを探して食べていました。

2月21日：田んぼ北側の溝をアオサギがゆっくりと歩いていました。



コチドリ：2024年5月17日



アオサギ：2025年2月21日



開発前の休耕地：2021 年 11 月 12 日



ドライブイン建設中：2024 年 4 月 1 日

4-4. 大野町 4 丁目ふれあい水田

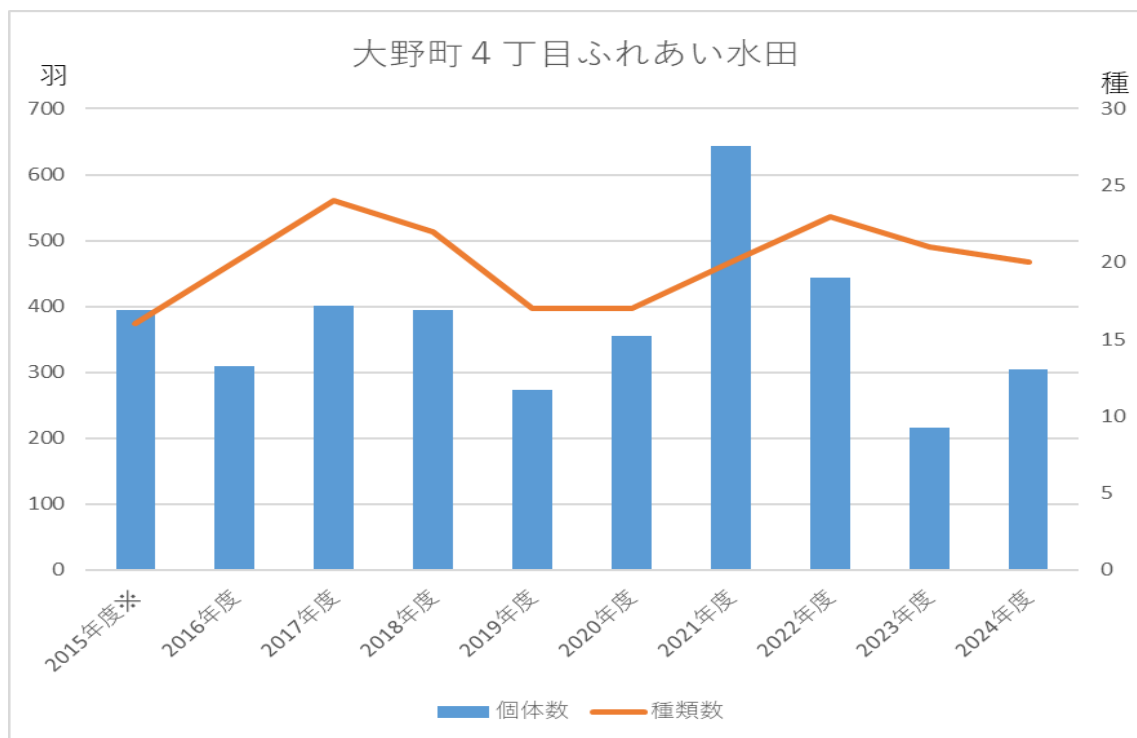
調査地の環境変化

特に大きな変化はありません。

調査結果

20 種 305 羽の鳥類が確認されました。種類数については大きな変化は見られませんでした。個体数は年度により変化がありますが、これは秋から冬に観察されるスズメの個体数により影響を受けます。

図3 種類数と個体数の変化（大野町 4 丁目ふれあい水田）



【特記】

- ・11月26日：上空をメジロ3羽が通過していきました。
- ・12月24日：ヒヨドリ6羽がトウネズミモチの実を食べていました。
- ・2月22日：枯れた草地で、カワラヒワ7羽が餌を探していました。
- ・3月4日：耕された場所で、スズメ30羽ほどの群れが餌を探していました。
- ・3月21日：枯れた草地の中で、アオジ5羽が採餌していました。
- ・3月21日：コチドリ1羽が鳴きながら上空を旋回していました。



スズメの群れ：2025年3月4日



カワラヒワ：2025年2月22日

4-5. こざと公園

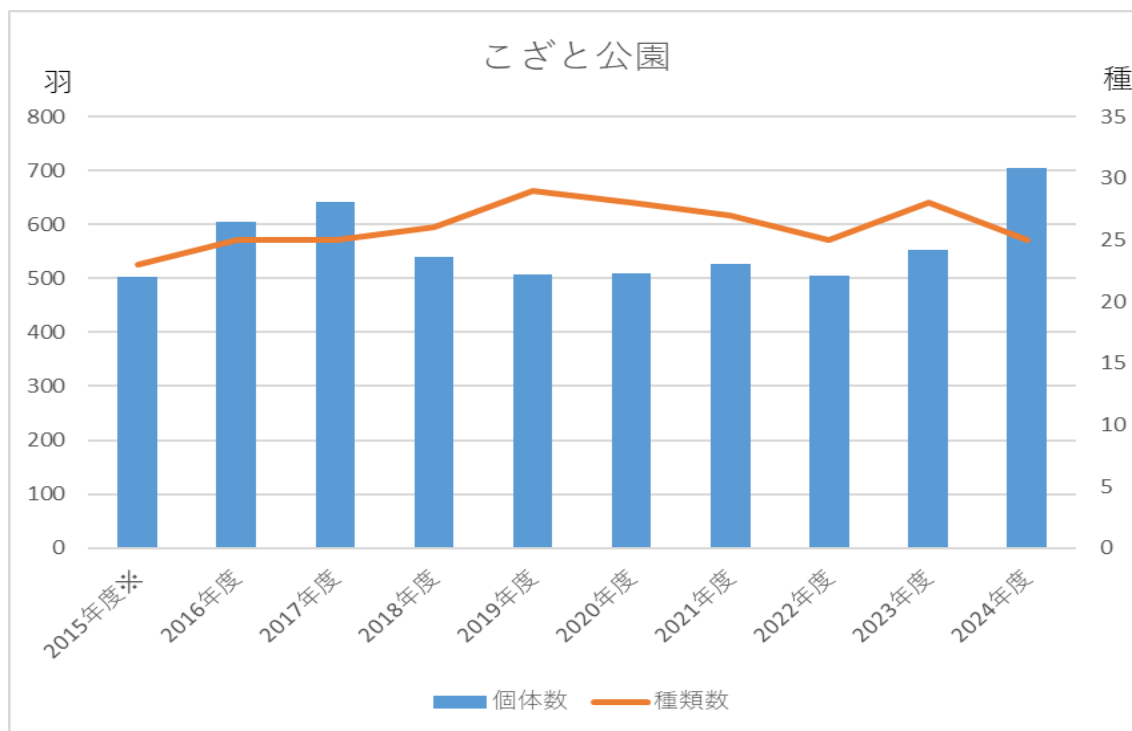
調査地の環境変化

特に大きな変化はありません。公園緑地課により、定期的な水生植物の管理が行われています。

調査結果

25種704羽の鳥類が確認されました。種類数は例年とほぼ同様でしたが、個体数の増加がみられました。増加したのは主にスズメでした。当地のスズメが人を恐れていないので、一部でエサやりが行われている可能性もあります。

図 4 種類数と個体数の変化（こざと公園）



【特記】

- ・ 5 月 21 日：カワセミが小魚を捕らえ、くわえたまま西側住宅街奥の緑地に飛び去りました。
- ・ 1 月 29 日：北公園で植生の管理作業中のため、多くのカモ類が南公園に集まっていました。
- ・ 2 月 7 日：モズ（雄）が北公園の刈残したアシにとまり、しきりに鳴いていました。
- ・ 3 月 18 日：潜水性のカモであるキンクロハジロが観察されました。水深は浅いと思われますが、しきりに潜って何かを採餌していました。



バン幼鳥：2024 年 7 月 18 日



カワセミ幼鳥：2024 年 5 月 2 日

4-6. 大柏川第一調節池緑地

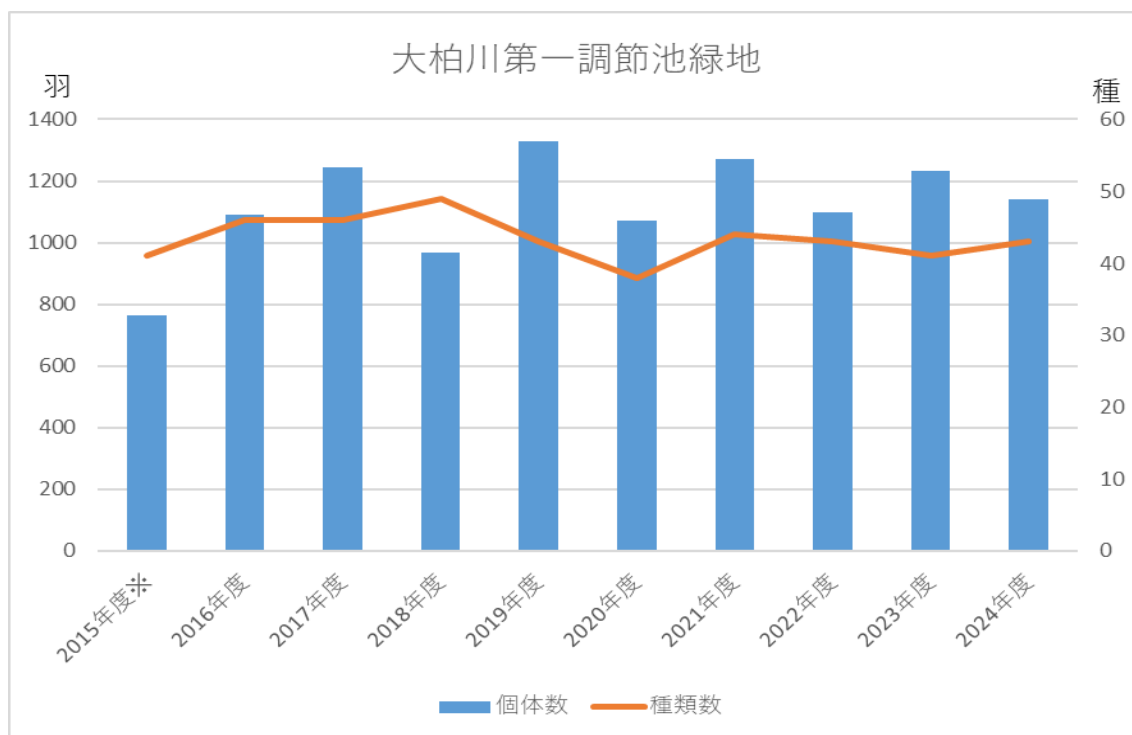
調査地の環境変化

特に大きな変化はありません。緑地内は県・市・ボランティアにより定期的な草刈りが行われています。また、市により緑地内の湿地環境の維持管理が行われています。

調査結果

43 種 1,141 羽の鳥類が確認されました。種類数・個体数とも、例年とほぼ同様でした。

図5 種類数と個体数の変化（大柏川第一調節池緑地）



【特記】

- ・4月14日：アオサギのコロニーの中にはヒナが散見されました。
- ・4月14日：アシ原の中から、ヒクイナの声が聞こえてきました。
- ・6月14日：アシ原の中から、ヒクイナの声が聞こえてきました。
- ・6月14日：カイツブリの親子連れ2組を見ました。
- ・9月20日：池の草むらの中から、カイツブリのヒナの声が聞こえてきました。
- ・10月25日：上空をヒバリ1羽が通過していきました。
- ・3月11日：アシ原の中で、2羽のヒクイナが10分以上鳴き合っていました。
- ・3月11日：上空でヒバリが囀り飛翔をしていました。
- ・3月11日：オオジュリンが枯れたアシで餌を探していました。個体数も多く目立ちました。頭が黒くなってきた個体もありました。
- ・3月11日：例年から比べると少数ですが、アオサギが営巣活動をしていました。



アオサギ繁殖：2024 年 4 月 14 日



ホオジロ幼鳥：2024 年 7 月 19 日



カイツブリ親子：2024 年 6 月 14 日



オオジュリン夏羽：2025 年 3 月 11 日



コチドリ：2025 年 3 月 11 日



オカヨシガモ：2025 年 3 月 11 日

4-7. 柏井調整池

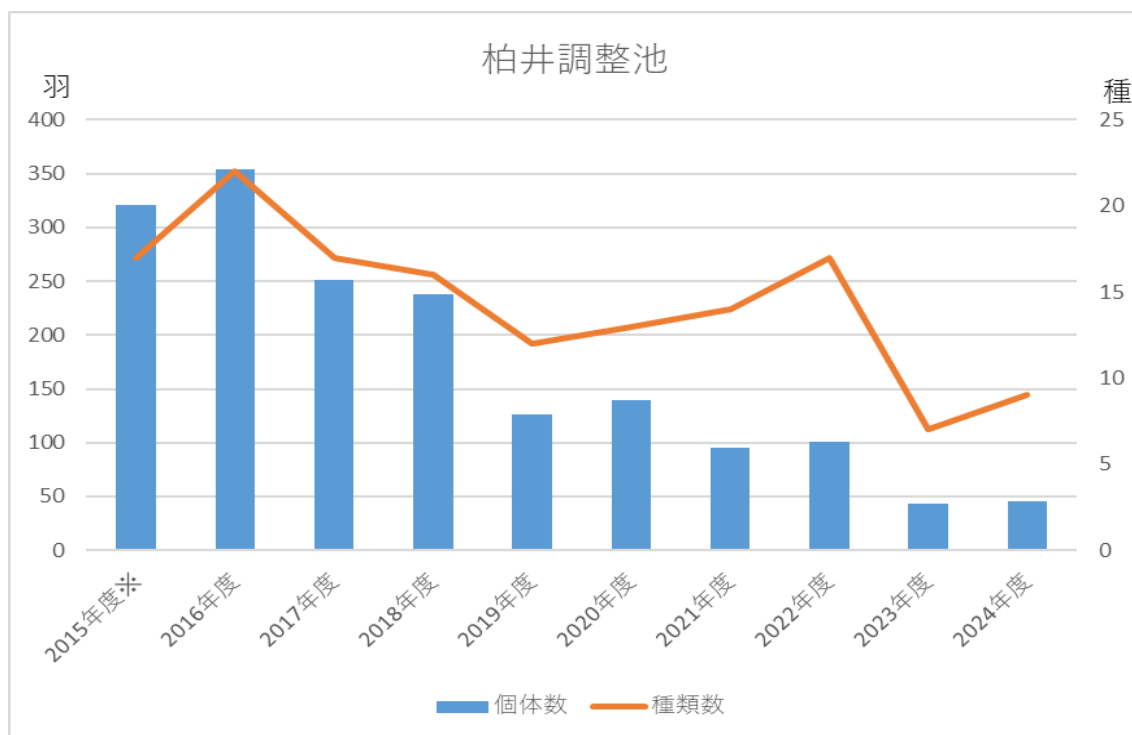
調査地の環境変化

外観上、環境的な変化はないのですが、水位の変化があるようです。立入りが出来ないため詳細はわかりません。

調査結果

9 種 46 羽の鳥類が確認されました。種類数・個体数とも昨年に引き続き少ない状態が続いています。当地では初めてヨシガモが確認されました。

図 6 種類数と個体数の変化（柏井調整池）



【特記】

- ・ 2月4日：風を避けるように、ヨシガモ・カルガモ・カイツブリが集まっていました。



カルガモ・ヨシガモ・カイツブリ：2025 年 2 月 4 日



柏井調整池環境：2024 年 6 月 7 日

4-8. 柏井青少年の森

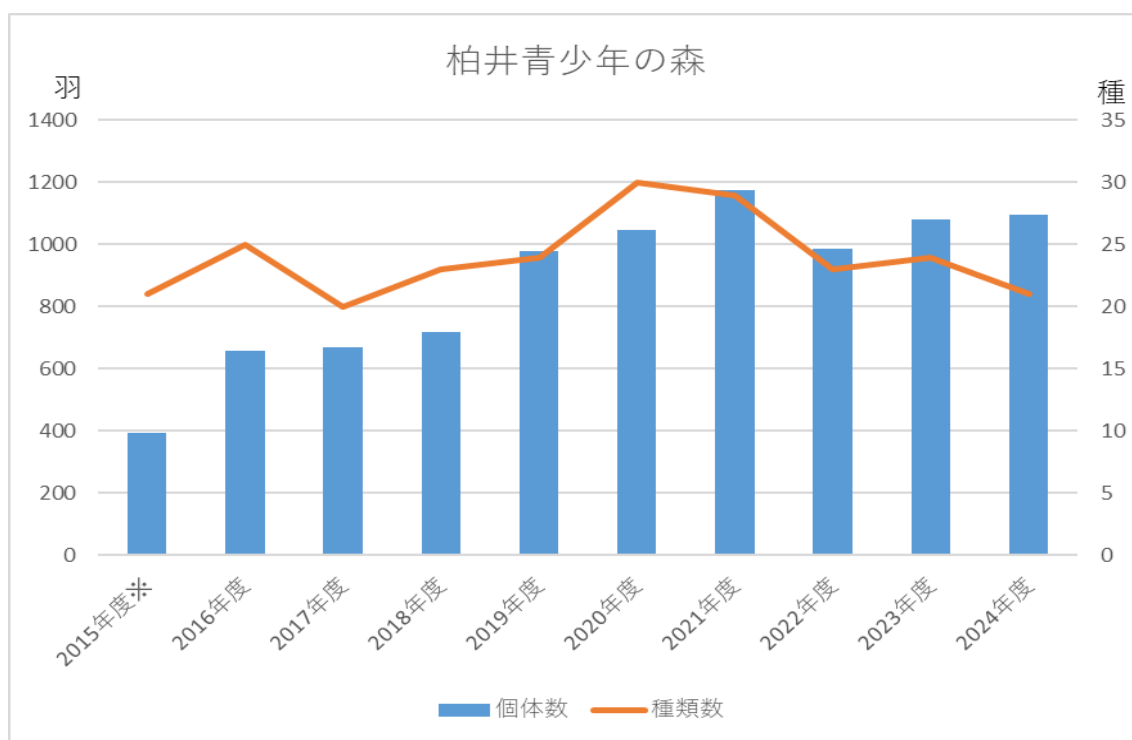
調査地の環境変化

2019年から発生したナラ枯れにより、多くのコナラが枯れました。枯れた樹木の一部は撤去され、撤去により林の中にギャップができました。隣接する船橋市区域の林は現在でも枯れたコナラは放置され、倒木しているものも見かけます。

調査結果

21 種 1,095 羽の鳥類が確認されました。個体数は例年とほぼ同様でしたが、種類数が減少傾向に見えます。今後の動向に注目したいと思います。2023 年から 2024 年の冬期に最大 4 羽が確認されたアカゲラは、今年度の冬期は確認されませんでした。アカゲラのこの傾向は当地だけではなく、周辺地域でも同様の傾向でした。

図 7 種類数と個体数の変化（柏井青少年の森）



【特記】

- ・ 6 月 14 日：キビタキが囀っていました。
- ・ 9 月 20 日：シジュウカラ・エナガ・メジロ・コゲラが混群を形成していました。
- ・ 11 月 22 日：多数のヒヨドリの声がうるさいぐらいでした。105 羽確認しました。
- ・ 2 月 21 日：エナガが巣材のクモの糸（巣）をしきりに集めていました。
- ・ 3 月 18 日：桜の花にメジロとヒヨドリが吸蜜に訪れていました。



キビタキの囀り：2024 年 5 月 17 日



エナガの巣材集め：2025 年 2 月 21 日

4-9. 小塚山公園

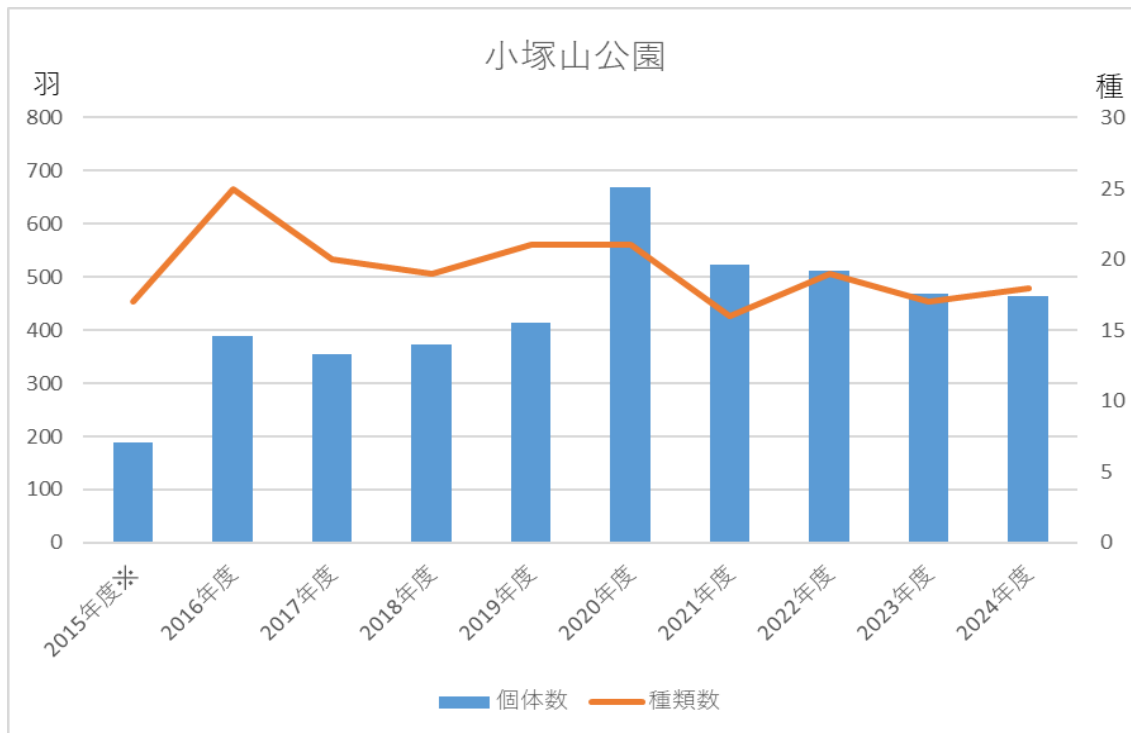
調査地の環境変化

2019 年から発生したナラ枯れにより、園内のコナラが枯れ、伐採・撤去が行われました。現在、新たに枯死するコナラは無いようです。大きな変化はありません。

調査結果

18 種 463 羽の鳥類が確認されました。種類数が若干減少傾向のようにも見えます。今後の動向に留意したいと思います。

図 8 種類数と個体数の変化（小塚山公園）



【特記】

- ・6月21日：エナガとシジュウカラが混群になって、林の中を移動していきました。
- ・2月14日：林の中からオオタカの声が聞こえてきました。

4-10. 堀之内貝塚公園

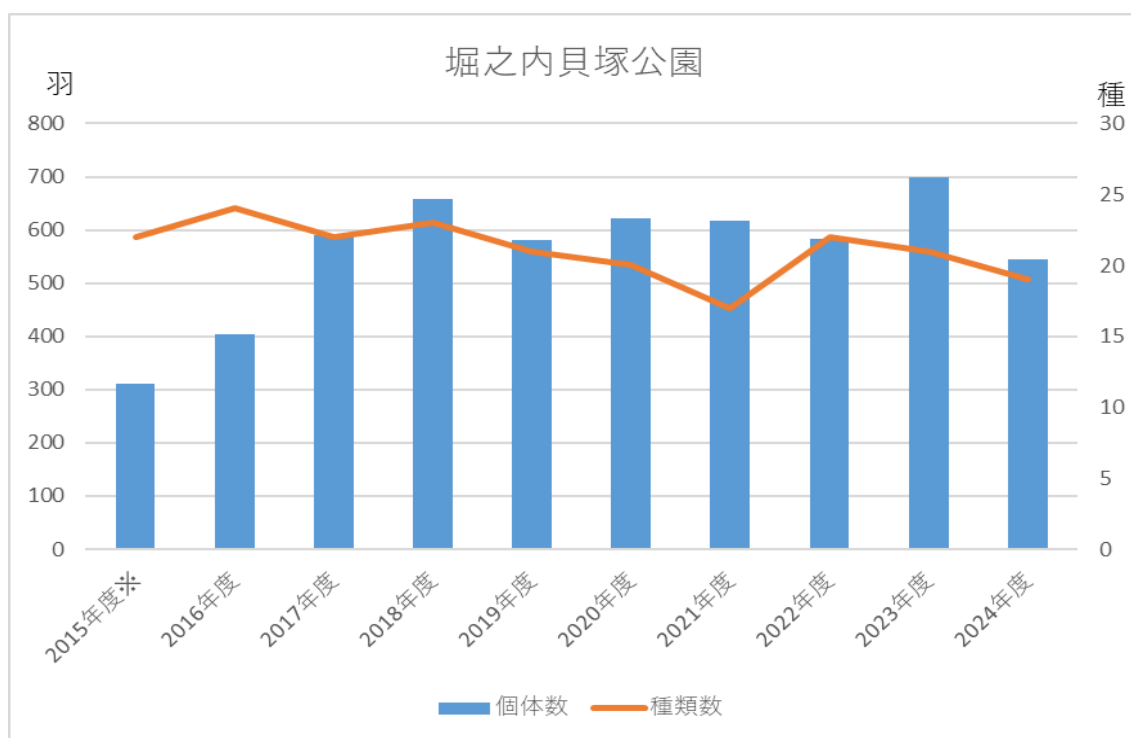
調査地の環境変化

特に大きな変化はありません。

調査結果

19種 545羽の鳥類が確認されました。種類数が若干減少傾向のようにも見えます。今後の動向に留意したいと思います。

図9 種類数と個体数の変化（堀之内貝塚公園）



【特記】

- ・11月26日：多数のヒヨドリの声が聞こえました。47羽確認。
- ・12月10日：ツイーと弱く鳴き、樹木の上部をシロハラが移動していました。
- ・2月14日：カワラバト（ドバト）22羽が広場に降りて、餌を探していました。
- ・3月12日：シメの群れが確認されました。春の渡りの前にはこの場所では集結するのがよく見られます。
- ・3月12日：キジバトが16羽、木に止まっていました。



メジロ：2024 年 4 月 5 日



キジバト：2025 年 3 月 12 日

4-11. じゅん菜池緑地

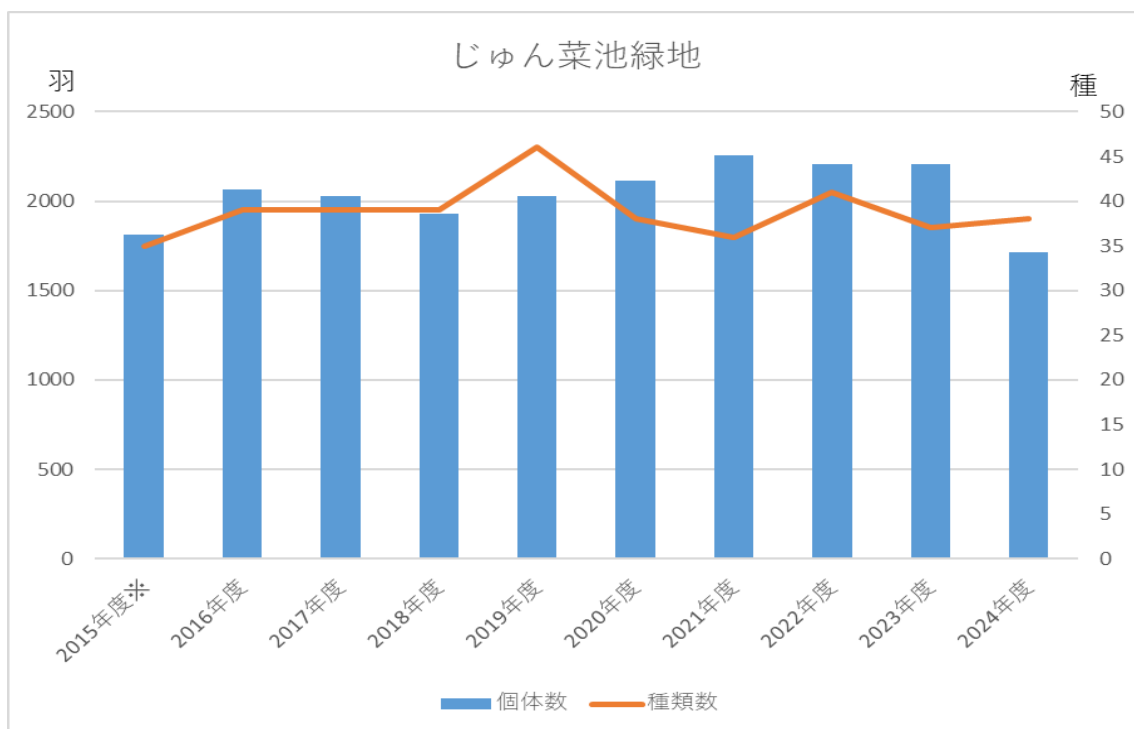
調査地の環境変化

特に大きな変化はありません。

調査結果

38 種 1,717 羽の鳥類が確認されました。種類数は例年とほぼ同様でしたが、個体数が減少しました。ヒドリガモの減少が影響したようです。今後の動向に留意したいと思います。なお、個体数の多い上位 6 種のカモ類の経年変化について後述しました。

図 10 種類数と個体数の変化（じゅん菜池緑地）



【特記】

- ・5月29日：カワセミの幼鳥がカエデの木で伸びをしていました。
- ・5月29日：カワセミが池の上を一直線に飛んで、東側の斜面林に消えました。
- ・5月29日：池の上空でツバメが幼鳥に餌を与えていました。
- ・6月25日：緑地内から鳥の鳴き声はほとんど聞こえません。
- ・6月25日：ハシボソガラスの幼鳥が親から餌をもらっていました。
- ・10月15日：キビタキのオスとメスが一緒に行動していました。
- ・11月15日：小雨模様で人出がなかったため、園路沿いの草原でヒドリガモ65羽の群れが草を食っていました。
- ・3月28日：2羽のワカケホンセイインコが斜面林より飛び出し、鳴きながら北方向へ飛び去りました。＜調査日外＞



ゴイサギ：2024年12月13日



ハシボソガラス親子：2024年6月1日

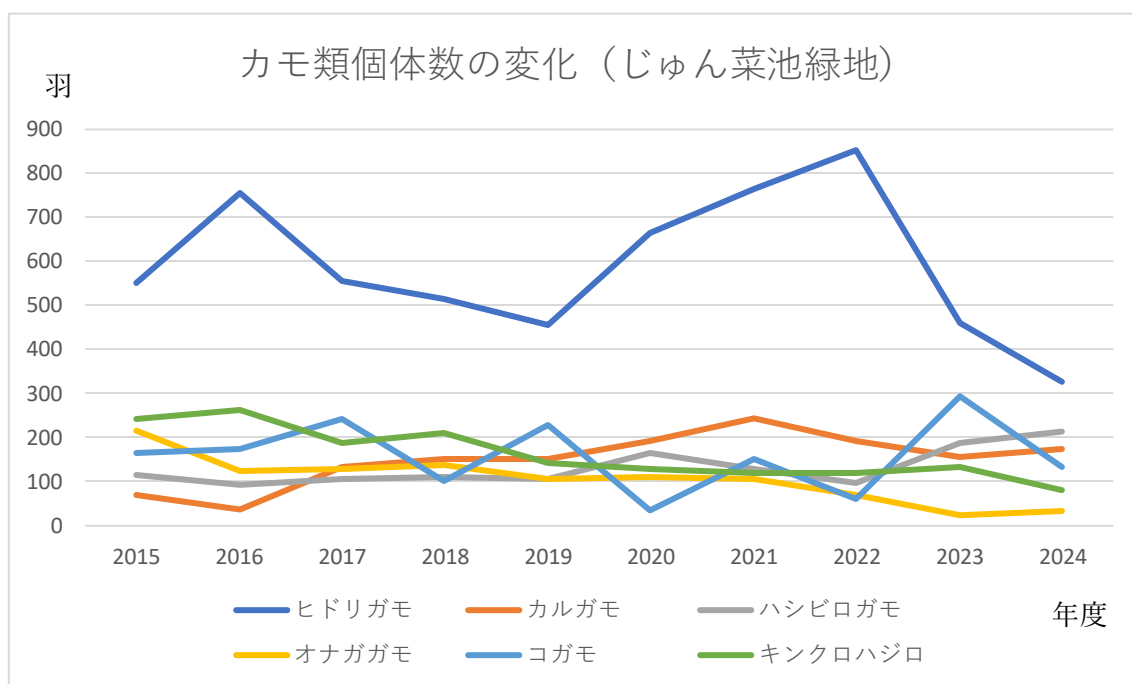
当調査地には冬期に多くのカモ類が飛来します。2024年度は表3の通り、9種が確認されました。例年に比べて、ヒドリガモの飛来数が少なかったために、当調査地の個体数が少なくなった一要因となりました。

表3 カモ類の月別個体数の変化

種 名	2024年										2025年			合 計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
オカヨシガモ									18	15	16	6	55	
ヒドリガモ	7						16	82	49	106	20	47	327	
マガモ							5	21	14	7	13	4	64	
カルガモ	4	1				9	29	20	34	29	33	15	174	
ハシビロガモ	25					3	1	3	61	49	33	39	214	
オナガガモ								3	12	8	12		35	
コガモ	14								18	37	44	19	132	
ホシハジロ								12	3				15	
キンクロハジロ								38	26	14	3		81	
単位(羽)														

調査を始めた 2015 年度から個体数の多い上位 6 種の個体数変化は図 11 のとおりです。オナガガモとキンクロハジロが減少傾向、カルガモとハシビロガモが増加傾向のようです。ヒドリガモの飛来数は変化が大きくなっています。

図 11 カモ類 6 種の個体数の変化（じゅん菜池緑地）



ハシビロガモの採餌：2025 年 1 月 17 日



ヒドリガモの採餌：2024 年 11 月 15 日

4-12. 国分川調節池緑地

調査地の環境変化

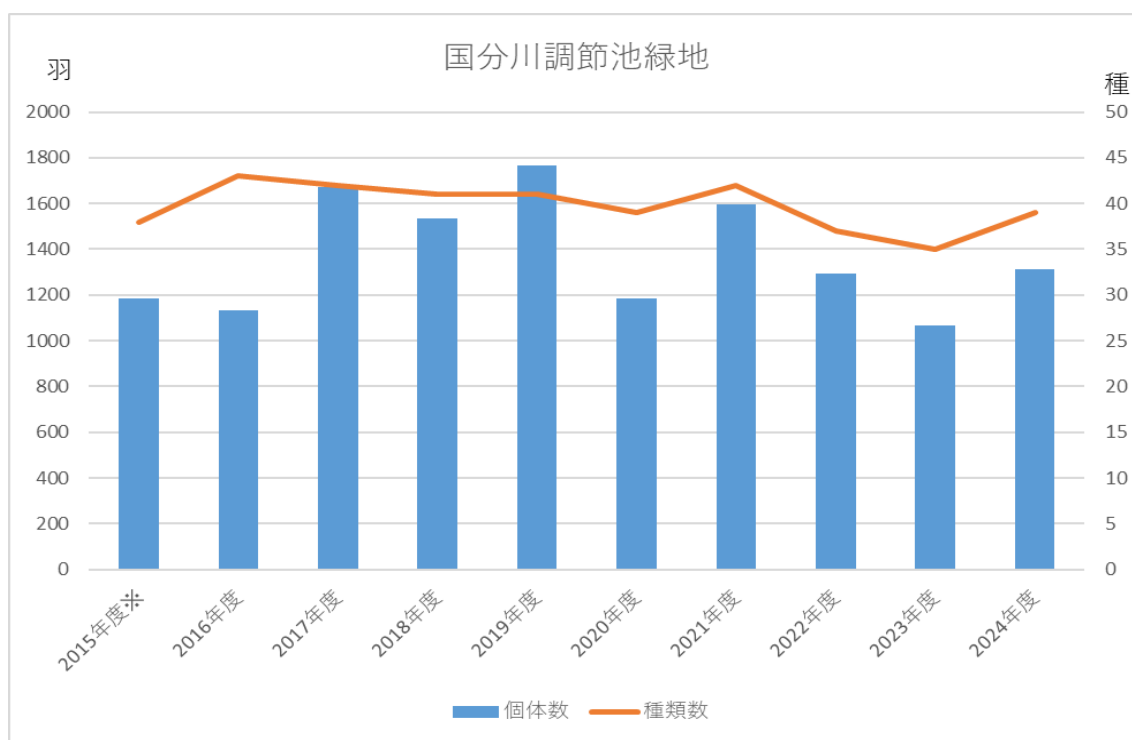
当調査地はアシなどの草刈り作業の時期により、水面や湿地の環境が変化します。また、近年はアシやヒメガマなどの繁茂範囲が著しく、水面が見えないことが多くなっています。

2024 年後期の環境省自然共生サイトに当調査地の一部（自然ふれあいゾーン、散策・休息ゾーンの一部）が認定されました。

調査結果

39種1,311羽の鳥類が確認されました。例年と大きな変化はないようですが、内訳をみていくとセッカの個体数が少なくなっているのが気になります。

図12 種類数と個体数の変化（国分川調節池緑地）



【特記】

- ・5月24日：朝6時頃、自然共生サイトでヒクイナが2羽で鳴きかわしていました。＜調査日外＞
- ・6月21日：中学校の夜間照明にカラスの巣がありました。おそらくハシボソガラスのものと思われます。
- ・7月19日：柳の木にホオジロの親子が止まっていました。
- ・7月19日：ウグイスが柳の木で囀っていました。
- ・11月1日：ヒバリ3羽が鳴きながら、上空を通過しました。

- ・11月1日：上池の葦原の中からヒクイナの声が聞こえてきました。
- ・12月10日：春木川でアオサギが大きなウシガエルを捕まえました。
- ・12月10日：上池の地面にアリスイがいましたが、すぐに飛んでしまいました。
- ・2月14日：カワセミ2羽が鳴き合っていました。
- ・3月12日：中池でヒクイナが鳴いていました。2羽いて、1羽は一瞬低く飛び上がったところを見ることができました。
- ・3月12日：春木川でタシギ1羽とクサシギ1羽が餌を探していました。



ツバメの群れ（春木川）：2024年4月5日



ツバメ（巣材集め）：2024年6月3日



カイツブリ（営巣）：2024年7月20日



オオヨシキリ：2024年5月24日



自然共生サイト認定

「自然ふれあいゾーン」

2024年8月20日撮影

4-13. 真間山・弘法寺周辺

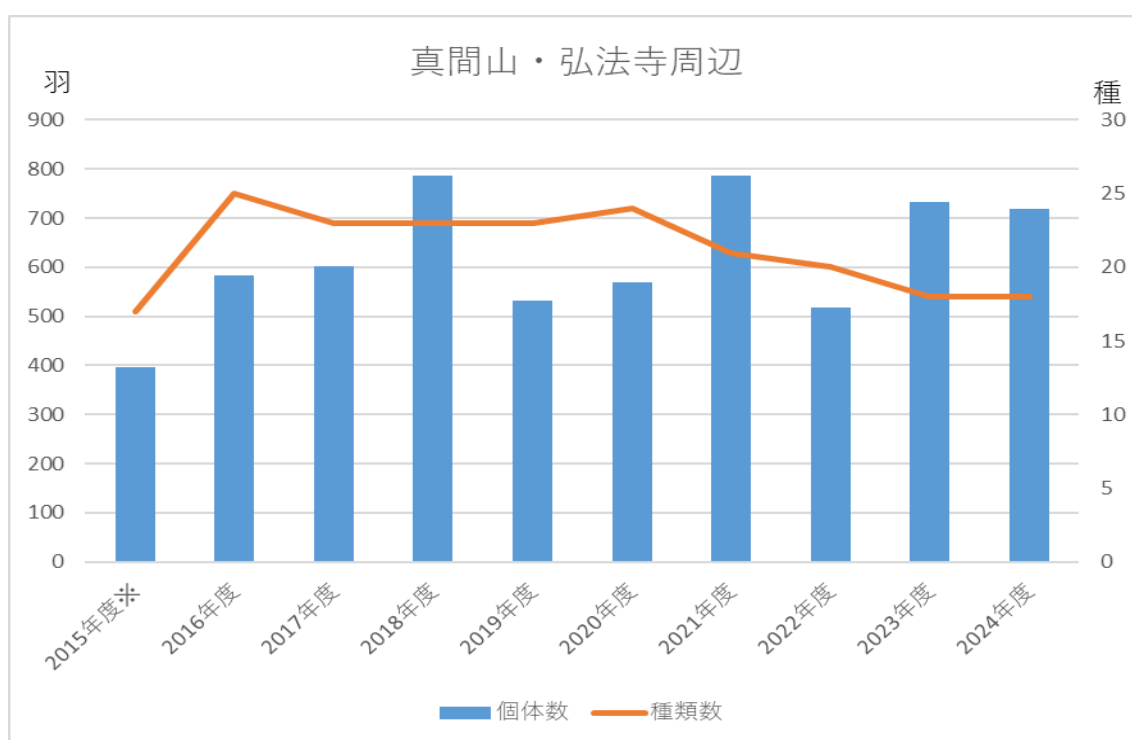
調査地の環境変化

昨年と大きな変化はありませんが、数年前に剪定が行われた弘法寺南側の石段両側の樹木の緑量は回復していません。

調査結果

18 種 718 羽の鳥類が確認されました。種類数が近年減少傾向の調査地です。今後の動向に留意したいと考えています。

図 13 種類数と個体数の変化（真間山・弘法寺周辺）



【特記】

- ・ 5 月 21 日：地面でハシブトガラスが蟻浴をしていました。＜調査日外＞
- ・ 5 月 29 日：茂みの中でウグイスが囀っていました。
- ・ 11 月 15 日：森の中にヒヨドリの群れ（180 羽）が滞在しているようで、鳴き声がうるさいくらいでした。天候が悪いため、渡り途中の個体が留まっているようです。
- ・ 11 月 15 日：カワウ 1 羽が上空を通過しました。



エゾビタキ：2024 年 10 月 15 日



ハシブトガラス（蟻浴）：2024 年 5 月 21 日

4 -14. 里見公園

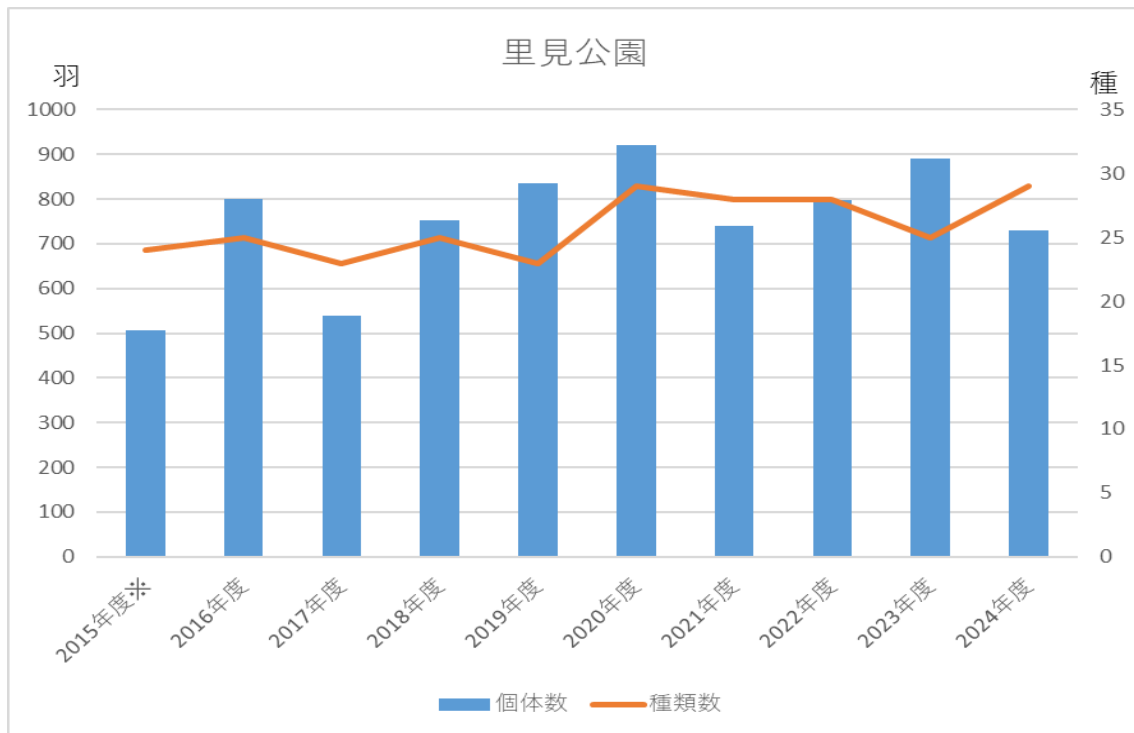
調査地の環境変化

特に大きな変化はありません。

調査結果

29種729羽の鳥類が確認されました。種類数・個体数とも例年と大きな変化はありません。外来種のガビチョウとワカケホンセイインコが初めて記録されました。

図14 種類数と個体数の変化（里見公園）



【特記】

- ・5月10日：キビタキが囀っていました。渡りの途中、立ち寄ったようです。
- ・6月30日：スダジイにとまるフクロウ幼鳥2羽と親鳥1羽が市民調査員により確認されました。＜調査日外＞
- ・7月5日：ムクドリ5羽がタブノキの実を食べていました。
- ・9月9日：園内でセンダイムシクイ2羽が確認されました。
- ・10月1日：シジュウカラ・メジロ・エナガが混群になっていました。
- ・1月7日：上空を2羽のワカケホンセイインコが鳴きながら北方面に飛び去りました。
- ・2月4日：メジロが樹液を飲んでいました。
- ・3月10日：林の中から、ガビチョウの鳴き声が聞こえました。
- ・3月14日：リュウキュウサンショウクイ1羽が鳴きながら上空を通過しました。＜調査日外＞



樹液を飲むメジロ：2025年2月4日



キビタキの囀り：2024年5月10日



シロハラ：2025年3月11日



エナガ：2025年2月4日

4-15. 江戸川河川敷

調査地の環境変化

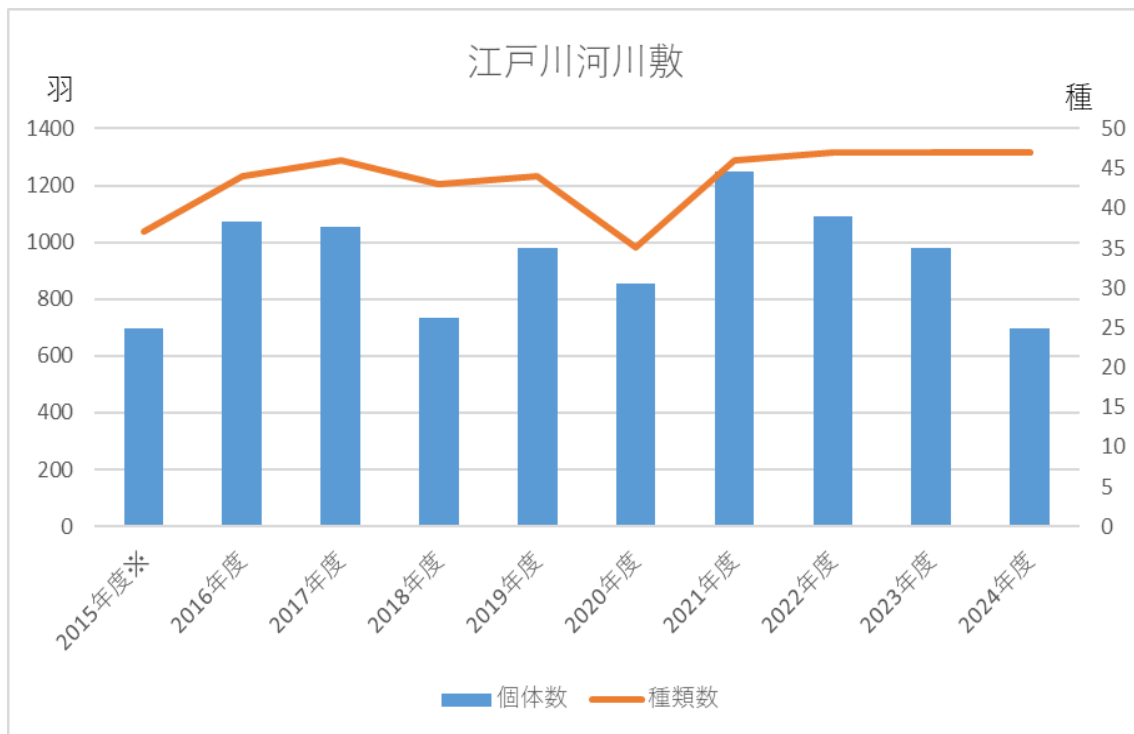
特に大きな変化はありません。

調査結果

47 種 978 羽の鳥類が確認されました。種類数は例年とほぼ同様でしたが、個体数が減少しました。内訳を見るとムクドリ・ツグミ・スズメ・カワラヒワの個体数が少なくなっていました。

ムクドリ・スズメ・カワラヒワは、秋から冬に、群れで確認されることが多い鳥類です。ツグミは河川敷でもよく見られる冬鳥ですが、今冬は多くの場所で飛来が遅れていたことが影響しました。

図 15 種類数と個体数の変化（江戸川河川敷）



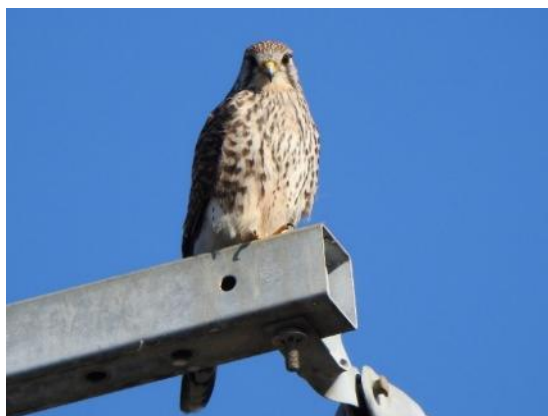
【特記】

- ・ 6 月 3 日：ウグイスが藪の中で囀っていました。
- ・ 6 月 3 日：上空を 20 羽ほどのツバメが飛び回っていました。尾の短い幼鳥がかなりの数混ざっていました。
- ・ 7 月 5 日：モズがブッシュの中で警戒の声をあげていました。
- ・ 7 月 5 日：アシ原の中から、オオヨシキリの幼鳥らしい鳴き声が聞こえました。個体数も 16 羽確認されました。
- ・ 8 月 2 日：坂川水門周辺を 2 羽のヒメアマツバメが飛び回っていました。

- ・10月1日：柳の木からツツドリ2羽が飛び出しました。
- ・10月1日：堤防に生えた草のてっぺんにノビタキ1羽がとまりました。
- ・11月5日：チョウゲンボウに2羽のハシボソガラスがちょっかいを出していました。
- ・11月5日：キジのオス2羽が草むらに逃げ込みました。
- ・12月3日：ブッシュの中からガビチョウの鳴き声が聞こえました。
- ・2月4日：強風の中、ハイタカが風に向かって飛んでいました。



ホオジロ：2024年4月2日



チョウゲンボウ：2024年12月3日



ハイタカ：2025年2月4日



ノビタキ：2024年10月1日



キジの巣（巣立ち後）：2024年6月26日



キジ幼鳥：2024年7月20日

4-16. JR 市川駅周辺

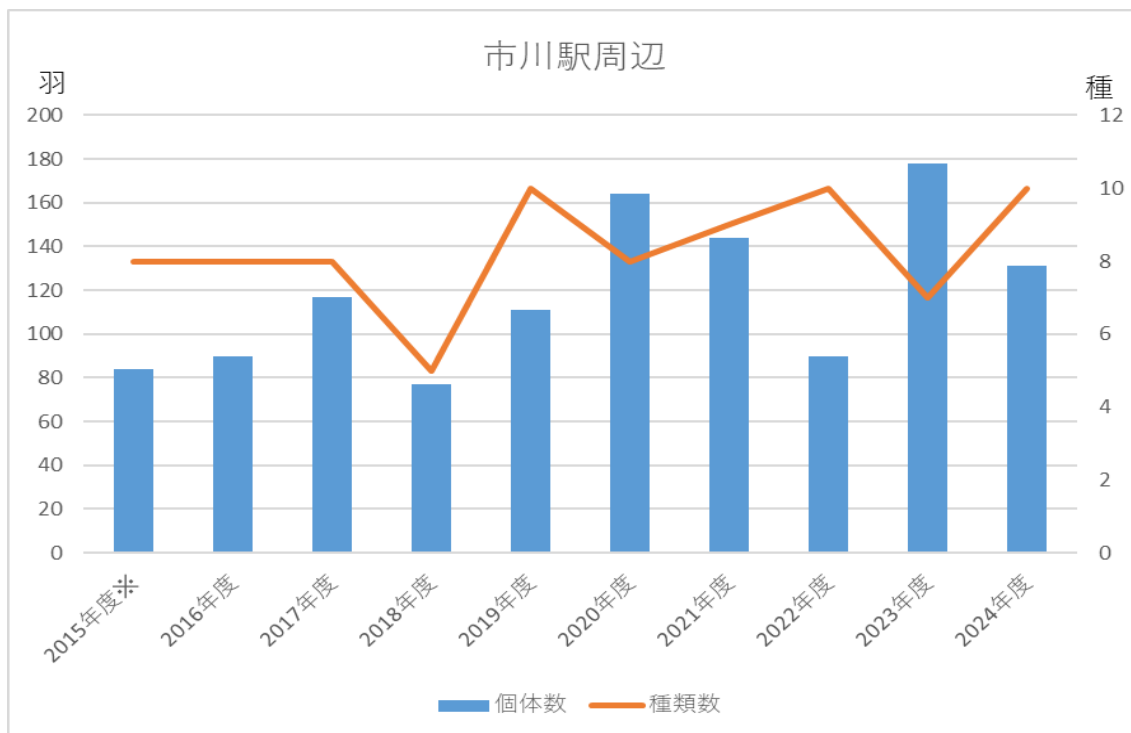
調査地の環境変化

特に大きな変化はありません。

調査結果

10 種 131 羽の鳥類が確認されました。

図 16 種類数と個体数の変化（市川駅周辺）



【特記】

- ・ 11 月 29 日：イソヒヨドリの雌が地上でキリギリスの仲間を食べていました。
- ・ 1 月 14 日：トウネズミモチの実をムクドリ 1 羽とヒヨドリ 1 羽が食べていました。
- ・ 3 月 14 日：メジロ 1 羽が住宅の玄関に置かれているアロエの花の蜜を吸っていました。



イソヒヨドリ：2024 年 11 月 29 日



メジロ：2025 年 3 月 14 日

5. レッドデータ掲載種

2024 年度に新たに観察された種はヒメアマツバメと日本産鳥類目録の改定により、サンショウクイの亜種から独立種になったリュウキュウサンショウクイの2種です。この2種は千葉県レッドデータ及び国（環境省）レッドデータに掲載はされていないので、2023 年度と同様、51 種類です。詳細については資料の一覧表を参照ください。

県と国の区分

千葉県レッドデータ（2019 年）カテゴリー

X：消息不明　：最重要保護生物　B：重要保護生物　C：要保護生物　D：一般保護生物

国（環境省）レッドデータ（2020 年）カテゴリー

EX：絶滅　EW：野生絶滅　CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類　CR：絶滅危惧ⅠA類

EN：絶滅危惧ⅠB類　VU：絶滅危惧Ⅱ類　NT：準絶滅危惧　DD：情報不足

LP：地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの

6. 外来種について

外来種として、特定外来生物に指定されているガビチョウ、生態系被害防止外来種リストでその他の総合対策外来種に指定されているワカケホンセイインコが確認されました。

ガビチョウは江戸川河川敷と里見公園で確認されています。市民調査員の報告でも江戸川河川敷や周辺の斜面林での観察が寄せられています。複数個体が確認されていて、今後、繁殖の可能性が高いと思われます。

ワカケホンセイインコは里見公園とじゅん菜池緑地で、それぞれ2羽が確認されました。今後の動向を注視したいと思います。



ガビチョウ：2024 年 8 月 3 日

江戸川河川敷

（市民モニタリング調査員提供）



ワカケホンセイインコ：市外で撮影

7. 摘要

- ・調査地全体でみると 2024 年度に確認された鳥類の種類数は 77 種類と例年と大きな差はありませんでした。総個体数は 10,881 羽となり、近年としては個体数が少なくなりました。じゅん菜池緑地のカモ類の個体数減少による影響が大きかったようです。
- ・2015 年 7 月以降の調査により、調査地全体で 120 種類が記録されました。
- ・柏井青少年の森・小塚山公園・堀之内貝塚公園の記録種類数に若干の減少傾向がみられました。
- ・大野町 4 丁目水田では種類数・個体数とも昨年度より減少しました。調査区域内の休耕田が開発により失われたことが関係したことは明らかなようです。
- ・柏井調整池では種類数・個体数とも引き続き少ない状況です。原因ははっきりしませんが、調整池の水深に関係があるかもしれません。
- ・真間山・弘法寺周辺は種類数が近年減少傾向の調査地です。
- ・千葉県レッドデータや国（環境省）レッドデータに掲載されている種類は新たに記録されず、51 種類のままです。
- ・外来種として、ガビチョウ（特定外来生物に指定）とワカケホンセイインコ（生態系被害防止外来種リスト・その他の総合対策外来種に指定）が確認されました。今後の動向に注視したいと思います。

調査・報告書作成：鈴木弘行（自然環境政策専門員）

調査地別レッドデータ種の出現状況

種名	国RD	県RD	大町	大野水田	ふれあい水田	こざと公園	大柏川	柏井調節池	柏井の森	堀之内	小塚山	じゅん菜池	国分川	真間山	里見公園	江戸川	市川駅	確認ヵ所数
オシドリ		B										○						1ヵ所
オカヨシガモ		C				●	●	○				●	○			○		6ヵ所
ヨシガモ		B					○	●				○						3ヵ所
スズガモ		D					○					○	○					3ヵ所
カイツブリ		C				●	●	●				●	○			○		6ヵ所
カンムリカイツブリ		D										○				●		2ヵ所
ダイサギ		D	●	○	●	●	●	●				●	●			●		9ヵ所
チュウサギ	NT	B		○	○	○	○						○			○		6ヵ所
コサギ		B	●	○	●	●	●	○				●	●			●		9ヵ所
クイナ		X					○						○			○		3ヵ所
ヒクイナ		A					●						●					2ヵ所
バン		B				●	●						●			○		4ヵ所
オオバン		C	○			●	●	○				●	○			●		7ヵ所
ホトトギス		C	○															1ヵ所
ツツドリ		C							○						○	●		3ヵ所
アマツバメ		A														○		1ヵ所
ムナグロ		B											○					1ヵ所
コチドリ		B		●	●		●						●		○	●		6ヵ所
セイタカシギ	VU	A											○					1ヵ所
チュウジシギ		A														○		1ヵ所
クサシギ		C					○						●					2ヵ所
タカブシギ	VU	B						○					○					2ヵ所
イソシギ		A					○						●			○		3ヵ所
ミサゴ		B														○		1ヵ所
ツミ		D	○	○		○				○	○	●		○	○	○		9ヵ所
ハイタカ	NT	B	○		○				○			○			○	●		6ヵ所
オオタカ	NT	C	●	○			○		○	○	●	○	○		○	●		10ヵ所
サシバ	VU	A													○	○		2ヵ所
ノスリ		C					○								○	○		3ヵ所
フクロウ		B	○															1ヵ所
カワセミ		C	●		○	●	●	○				●	●		●	●		9ヵ所
ブッポウソウ	EN									○								1ヵ所
アカゲラ		C	●						○	●	○	○		○		○		7ヵ所
サンショウクイ	VU	X							○									1ヵ所
サンコウチョウ		A							○	○	○	○		○	○			6ヵ所
カケス		D	●						●	○	○	○		○	○			7ヵ所
ヒバリ		D			○		●		○				●			●		5ヵ所
イワツバメ		D				○	○						●	○				4ヵ所
センダイムシクイ		C	○						○	○		○		○	●			6ヵ所
オオヨシキリ		D		○		●	●						●			●		5ヵ所
セッカ		D			○		●						●			●		4ヵ所
ミソサザイ		C	○									○						2ヵ所
トラツグミ		A	○						○	○								3ヵ所
コサメビタキ		A								○								1ヵ所
キビタキ		A	●						●	○	●	●		○	●	●		7ヵ所
キセキレイ		B	●		●	○	○		○	○		○	●	○	○			10ヵ所
ホオジロ		C	○	●	●	○	●		○				●			●		8ヵ所
ホオアカ		C			○													1ヵ所
オオジュリン		D		○	○	○	●						●			●		6ヵ所
確認種類数51種			17種	9種	12種	14種	24種	8種	13種	11種	6種	20種	25種	8種	13種	26種	0種	

凡例

●2024年度出現種

○2015年度以降出現種

表. 市川市生物多様性調査(調査地:大町公園)2024年度

年	2024									2025			2024年度 計
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
日	1	14	4	2	6	3	4	12	6	17	7	4	
キジバト	3		1						1	2	4	3	14
アオサギ				1									1
ダイサギ	1					1				3		1	6
コサギ								1		1	1	1	4
オオタカ	1											1	2
カワセミ						1				1	2	2	6
コゲラ	2	6	4	2		2	2	2	3	2	3	5	33
アカゲラ	1												1
モズ							1				1		2
カケス	2						1	2			2	9	16
ハシボソガラス							2		2				4
ハシブトガラス	6	4	6	5	4	3	13	7	14	3	10	4	79
ヤマガラ	2	11	4	5	1	10	3	3	1	1	3		44
シジュウカラ	16	10	36	25	7	26	21	24	10	20	35	19	249
ヒヨドリ	29	2	10	8		5	11	82	72	17	25	18	279
ツバメ	1	6	2										9
ウグイス	7	4	5	4	3	2		9	3	2	3	7	49
エナガ	4	10	8					12	3	8		5	50
メジロ	6	13	9	31	9	3	10	30	11	30	27	17	196
シロハラ	4								1	2	2	2	11
ツグミ									1			2	3
キビタキ		2	2				1						5
ルリビタキ	1								3	1	1		6
ジョウビタキ	2												2
キセキレイ												1	1
シメ												1	1
カワラヒワ		4	1									1	6
アオジ	5							12	13	7	39	17	93
種数	18	11	12	8	5	9	10	11	14	15	15	19	28
個体数	93	72	88	81	24	53	65	184	138	100	158	116	1172

- ・種の配列は日本産鳥類目録改定第8版に準拠
- ・外来種は種類数と個体数に含まない

表. 市川市生物多様性調査(調査地:大野4丁目田んぼ)2024年度

年	2024									2025			2024年度 計
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
日	1	17	7	19	6	3	25	26	24	29	22	18	
カルガモ			2										2
キジバト					1								1
コチドリ		1											1
アオサギ								1			1		2
モズ								1		1			2
ハシブトガラス									1				1
ヒヨドリ	1									1	1	1	4
ツバメ		1	2		4								7
ムクドリ	4	1										1	6
スズメ						17						55	72
ハクセキレイ	1			1			1			1			4
カワラヒワ											1		1
ホオジロ									1			1	2
カワラバト					1			2		26			29
種数	3	3	2	1	2	1	1	2	2	3	3	4	13
個体数	6	3	4	1	5	17	1	2	2	3	3	58	105

- ・種の配列は日本産鳥類目録改定第8版に準拠
- ・外来種は種類数と個体数に含まない

表. 市川市生物多様性調査(調査地:大野4丁目ふれあい水田)2024年度

年	2024									2025			2024年度 計
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
日	1	17	7	19	6	3	25	26	24	29	22	21	
カルガモ			1										1
コチドリ			1									1	2
アオサギ							1						1
ダイサギ											1		1
コサギ							1						1
モズ							1	1			1	1	4
ハシボソガラス		1		1		3			2			1	8
ハシブトガラス									2	1	1		4
ヒヨドリ								3	6	2	1		12
ツバメ	3	2	4										9
メジロ								3					3
ムクドリ			5	7		70	5	1	2	3	1	9	103
ツグミ	3										2	8	13
スズメ			1		2	20	3	1	30	21	25	1	104
キセキレイ							1				1		2
ハクセキレイ	1			3		2	4	3				1	14
セグロセキレイ					1								1
カワラヒワ		1									7		8
ホオジロ		2											2
アオジ								1		2	4	5	12
カワラバト						8				1	47		56
種数	3	4	5	3	2	4	7	7	5	5	10	8	20
個体数	7	6	12	11	3	95	16	13	42	29	44	27	305

- ・種の配列は日本産鳥類目録改定第8版に準拠
- ・外来種は種類数と個体数に含まない

表. 市川市生物多様性調査(調査地:こざと公園)2024年度

年	2024									2025			2024年度 計
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
日	18	21	7	2	9	20	11	26	10	29	7	18	
ハシビロガモ							6	23	9	26	5	16	85
オカヨシガモ												2	2
カルガモ	2		3			9	4		9	7	5	2	41
コガモ							6		2	31	3		42
ホシハジロ								1	1				2
キンクロハジロ												2	2
キジバト			1	1	1								3
バン	1												1
オオバン								6	7	7	8	8	36
カイツブリ							1						1
ユリカモメ								2		4	6		12
カワウ									1	1		1	3
アオサギ					1	2	2	1	1		1		8
ダイサギ	1				4	5	3	3	1			1	18
コサギ					1	2	3	2	2		1	1	12
カワセミ		2	2	3		1	1	2	1		1	2	15
モズ							1		1		1		3
ハシボソガラス											1		1
シジュウカラ	1				2	4	1		2				10
ヒヨドリ							2	1	1	6	6	18	34
ツバメ	2	3	2	4	2								13
オオヨシキリ		2											2
メジロ								1	3		2	3	9
ムクドリ	6	2	7	2	5	2			2		6	4	36
ジョウビタキ												1	1
スズメ	14	25	10	30	22	38	24	20	30	23	28	21	285
ハクセキレイ		1					1		3	2	3	3	13
カワラヒワ	1	2		2		5	4						14
カワラバト						7							7
種数	8	7	6	6	8	9	14	11	17	9	15	15	28
個体数	28	37	25	42	38	68	59	62	76	107	77	85	704

- ・種の配列は日本産鳥類目録改定第8版に準拠
- ・外来種は種類数と個体数に含まない

表. 市川市生物多様性調査(調査地:大柏川第一調整池緑地)2024年度

年	2024									2025			2024年度 計
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
日	14	21	14	19	9	20	25	22	24	21	22	11	
ハシビロガモ	3						3	10	3	4	2		25
オカヨシガモ	2									2	3	10	17
カルガモ		1	5	12	1	2			2	4	2	7	36
マガモ											1	1	2
オナガガモ						1				1			2
コガモ	8					1	13	22	24	14	18	27	127
ホシハジロ	2												2
キジバト		1		1	1	1	1						5
バン	1	1								1	1		4
オオバン				1			1	4	7	7	3	19	42
ヒクイナ	1		1									2	4
カイツブリ	2	2	9	2	5	5						3	28
コチドリ	4											3	7
タシギ											1		1
ユリカモメ								7					7
カワウ			4	1	4	3		1		2	2	1	18
アオサギ	30	18	8	5	4	7	5	2	13	1	3	8	104
ダイサギ					1	1		1	1	1	1		6
コサギ	4	2	2		1	2	2	2				1	16
カワセミ		2	3	3		1	1	2		1	2	3	18
コゲラ	1												1
モズ	1		1			4	2	2	3	3		2	18
ハシブトガラス			2	3			2						7
シジュウカラ	1					2	1	1			3	1	9
ヒバリ			1				1					1	3
ヒヨドリ	5		2	5	1		14	13	7	15	12	5	79
ツバメ	60	61	53	14	7								195
ウグイス			2	1	1			2	1	1		4	12
オオヨシキリ		12	10	3									25
セッカ	1	2		2		2							7
メジロ	2	1							2		9	2	16
ムクドリ	1	8	7		1		3			1	7	14	42
コムクドリ				3									3
ツグミ	1											6	7
ジョウビタキ										1			1
スズメ	5	10	7	5	1	3	2		1		31		65
ハクセキレイ					2		2	3	2	4	3	1	17
タヒバリ												3	3
ベニマシコ											1		1
カワラヒワ	3	2	3	2	1		14	7		1		1	34
ホオジロ	2	3	1	8	3		1	4	1	1	1	5	30
アオジ	1								2	2	8	16	29
オオジュリン	1						2	7	4	14	15	23	66
種数	24	15	18	17	15	14	18	17	15	21	22	26	43
個体数	142	126	121	71	34	35	70	90	73	81	129	169	1141

- ・種の配列は日本産鳥類目録改定第8版に準拠
- ・外来種は種類数と個体数に含まない

表. 市川市生物多様性調査(調査地: 柏井調整池)2024年度

年	2024									2025			2024年度 計
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
日	調査なし						4	26	6	7	4	11	
ハシビロガモ								1					1
ヨシガモ											1		1
ヒドリガモ										12			12
カルガモ											4	2	6
キンクロハジロ										2			2
カイツブリ							2	3	4	6	2	2	19
ダイサギ									1				1
ハシボソガラス							2		1				3
ハクセキレイ												1	1
種数							2	2	3	3	3	3	9
個体数							4	4	6	20	7	5	46

- ・種の配列は日本産鳥類目録改定第8版に準拠
- ・外来種は種類数と個体数に含まない

表. 市川市生物多様性調査(調査地: 柏井青年の森)2024年度

年	2024									2025			2024年度
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
日	12	17	14	5	22	20	11	22	24	30	21	18	計
キジバト	3									5	4		12
コゲラ	5	2	6		1	4	4	2	3	3	5	2	37
モズ								2					2
カケス							1		1				2
オナガ					2								2
ハシボソガラス											20	8	28
ハシブトガラス		7	3	13	18	8	3	3	1	2	12	3	73
ヤマガラ	5	3	3	2	2	1		1					17
シジュウカラ	7	7	6	6	16	15	30	15	14	8	7	4	135
ヒヨドリ	23	2	6	2	3	2	48	105	81	32	17	17	338
ウグイス	3	5		2				5	1	3	2	5	26
エナガ	2	13				5		15	21	23	12	2	93
メジロ	19	12	11	10	4	28	40	50	18	35	16	6	249
ムクドリ				1									1
シロハラ	9							9	6	2	3	1	30
ツグミ	1										2	2	5
キビタキ		3	1										4
スズメ		2		6									8
シメ	5									2	5	1	13
カワラヒワ	1									2		1	4
アオジ	1							3		6	4	2	16
種数	13	10	7	8	7	7	6	11	9	12	13	13	21
個体数	84	56	36	42	46	63	126	210	146	123	109	54	1095

- ・種の配列は日本産鳥類目録改定第8版に準拠
- ・外来種は種類数と個体数に含まない

表. 市川市生物多様性調査(調査地:小塚山公園)2024年度

年	2024									2025			2024年度
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
日	5	24	21	9	20	10	8	26	13	17	14	12	計
キジバト										2	1		3
オオタカ	1										1		2
コゲラ	2		1				1	1	3	2	1	2	13
ハシブトガラス	6	1		3	5	10	2	4	2	2	2	2	39
ヤマガラ	1		2			3		2				2	10
シジュウカラ	7	3	13		2	1	4	8	9	6	2	9	64
ヒヨドリ	25	3		4		2	10	18	48	16	12	4	142
ツバメ	1												1
ウグイス			2					1	1				4
エナガ	1		8				5		3	7		5	29
メジロ	8	5	7	6		4	4	19	42	16	13	14	138
シロハラ	1								3	1	1		6
ツグミ	2								1				3
キビタキ		1											1
スズメ			2										2
シメ	2												2
カワラヒワ			2										2
アオジ										1	1		2
種数	12	5	8	3	2	5	6	7	9	9	9	7	18
個体数	57	13	37	13	7	20	26	53	112	53	34	38	463

- ・種の配列は日本産鳥類目録改定第8版に準拠
- ・外来種は種類数と個体数に含まない

表. 市川市生物多様性調査(調査地:堀の内貝塚公園)2024年度

年	2024									2025			2024年度 計
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
日	5	24	21	9	20	10	8	26	10	17	14	12	
キジバト			1				1			3	2	24	31
カワウ	1												1
コゲラ	2	1				2	2		1		3	2	13
アカゲラ	1												1
モズ							1		1		2		4
ハシブトガラス	3			3	14			1	2	1	2	2	28
ヤマガラ	1					1		1					3
シジュウカラ	6	15	7	3	3	14	1	10	8	6	2	4	79
ヒバリ													0
ヒヨドリ	17	3	1	1		2	5	47	63	27	9	15	190
ツバメ				1									1
ウグイス								2				2	4
エナガ	3	16								5		6	30
メジロ	19	5	5	12		7	8	8	9	14	2	3	92
シロハラ									4		3	1	8
スズメ				1									1
ハクセキレイ				4			2			2	1		9
シメ	12											17	29
カワラヒワ								1			16	2	19
アオジ											2		2
カワラバト	24								1	6	22	17	70
種数	10	5	4	7	2	5	7	7	7	7	11	11	19
個体数	65	40	14	25	17	26	20	70	88	58	44	78	545

- ・種の配列は日本産鳥類目録改定第8版に準拠
- ・外来種は種類数と個体数に含まない

表. 市川市生物多様性調査(調査地:じゅん菜池緑地)2024年度

年	2024									2025			2024年度 計
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
日	16	29	25	16	27	26	15	15	17	21	18	21	
ハシビロガモ	25					3	1	3	61	49	33	39	214
オカヨシガモ									18	15	16	6	55
ヒドリガモ	7						16	82	49	106	20	47	327
カルガモ	4	1				9	29	20	34	29	33	15	174
マガモ							5	21	14	7	13	4	64
オナガガモ								3	12	8	12		35
コガモ	14								18	37	44	19	132
ホシハジロ								12	3				15
キンクロハジロ								38	26	14	3		81
キジバト						2					1	4	7
オオバン									1	2	3	2	8
カイツブリ	1						1	2	1	1	1		7
カワウ										1	4	2	7
アオサギ	1		1						1	2	2	2	9
ダイサギ						2					1		3
コサギ											1		1
ツミ										1	1		2
カワセミ		2	1	1		2		1	1	1		1	10
コゲラ	1	3					1		1	3		1	10
モズ							1		1				2
ハシボソガラス	1						1				1		3
ハシブトガラス	17	1	5	8	10	3	2	5	1	6	5	7	70
ヤマガラ	3						4	1		3	3		14
シジュウカラ	8	6	5		2	7	6	4	7	15	5	1	66
ヒヨドリ	10	4	3	3		8	40	24	43	24	21	9	189
ツバメ	1	5	1	3									10
ウグイス		1						4	2	4	1	2	14
エナガ	2								10	17		2	31
メジロ	7	9	5	1			9	9	20	12	14	9	95
ムクドリ		5	2	1			2						10
シロハラ									1		2		3
アカハラ	1												1
キビタキ							2						2
ジョウビタキ											1		1
スズメ		3	5				8					2	18
ハクセキレイ								2		1			3
カワラヒワ		2	2					1		2	2	1	10
アオジ	2							2		5	5		14
アヒル	2		3	3	3			2	3	2	1		19
種数	17	12	10	6	2	8	16	18	22	25	27	20	38
個体数	105	42	30	17	12	36	128	234	325	365	248	175	1717

- ・種の配列は日本産鳥類目録改定第8版に準拠
- ・外来種は種類数と個体数に含まない

表. 市川市生物多様性調査(調査地:国分川調整池緑地)2024年度

年	2024									2025			2024年度 計
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
日	5	24	21	9	20	13	8	1	10	14	14	12	
オシドリ			4										4
カルガモ	2	1	1		3	3	3	2	3	6		5	29
マガモ							1						1
コガモ							4	20	3		1	1	29
キジバト		1		4			1	2	2			1	11
バン												2	2
ヒクイナ								1				2	3
コチドリ	1											3	4
タシギ	3									2		2	7
イソシギ										1			1
クサシギ												1	1
カワウ		1	1	3	3	1	1					1	11
アオサギ	4	1		3	5	4	1	1	1	3	1	1	25
ダイサギ	6				2	3	1	1				1	14
コサギ		1		1	7	7	4	3	3	1	1	1	29
カワセミ	1	2			2	1	2		3	1	4	3	19
アリスイ									1				1
チョウゲンボウ										1			1
モズ	2			1			3	3	1	2	1	2	15
ハシボソガラス	2			1	1					4	2	2	12
ハシブトガラス	2	3	1	3	3			1					13
ヒバリ								3					3
ヒヨドリ				1			4	22	7	3	2	2	41
ツバメ	39	19	25	4	3								90
イワツバメ	2												2
オオヨシキリ		11	7										18
セッカ		3	2	1	1								7
メジロ											3	3	6
ムクドリ	44	28	6	4			95			2	63	43	285
ツグミ	47									1		26	74
スズメ	25	23	31	12	21	61	31	18	44	29	32	21	348
キセキレイ							1		1				2
ハクセキレイ	6	3	2	7	2	5	2	14	9	8	5	7	70
セグロセキレイ	1							2	1	1		1	6
タヒバリ	1							4	5	14	9	4	37
シメ	1												1
カワラヒワ	2			1			1	2	15	16	4	22	63
ホオジロ			1		2			1					4
アオジ	3							2		2	3	4	14
オオジュリン	1							2	2			3	8
カワラバト	4						4	1	5	11		21	46
種数	21	13	11	14	13	8	16	19	16	18	14	26	40
個体数	195	97	81	46	55	85	155	104	101	97	131	164	1311

- ・種の配列は日本産鳥類目録改定第8版に準拠
- ・外来種は種類数と個体数に含まない

表. 市川市生物多様性調査(調査地:真間山・弘法寺周辺)2024年度

年	2024									2025			2024年度 計
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
日	16	29	25	16	27	26	15	15	13	14	18	21	
キジバト						1	2		3	1			7
カワウ								1					1
コゲラ		1	1				2	2		1	2	2	11
モズ								1				1	2
ハシブトガラス	6	2	7	27	9	1		5	3	2	3	2	67
シジュウカラ	4	3	3		4	3	13	1	6	2	5	3	47
ヒヨドリ	5	1	4		6	4	37	180	75	28	7	17	364
ツバメ				1									1
ウグイス		1						1	1	1			4
エナガ								10		7		2	19
メジロ	2	2	2	2	2	7	9	11	21	18			76
ムクドリ			10	57	1			30			1		99
シロハラ									2	3			5
エゾビタキ							2						2
スズメ		4	1										5
ハクセキレイ									2				2
カワラヒワ			1						1				2
アオジ	2										2		4
カワラバト					1			2	12	5	4		24
種数	5	7	8	4	5	5	6	10	9	9	6	6	18
個体数	19	14	29	87	22	16	65	242	114	63	20	27	718

- ・種の配列は日本産鳥類目録改定第8版に準拠
- ・外来種は種類数と個体数に含まない

表. 市川市生物多様性調査(調査地: 里見公園)2024年度

年	2024									2025			2024年度 計
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
日	2	10	3	5	2	6	1	5	3	7	4	10	
キジバト	2	1					1	2		2	1	3	12
カワウ											1		1
カワセミ										1			1
コゲラ	2	1	1				4	2	1	2		2	15
モズ							1						1
オナガ	2										1		3
ハシボソガラス		2		2			1						5
ハシブトガラス	11	33	4	15	11	5	4	8	1	6	12	6	116
ヤマガラ	2					3	3	1		2	2		13
シジュウカラ	16	7	9	12	7	18	8	12	1	6	15	7	118
ヒヨドリ	18	3				1	14	27	42	48	9	14	176
ツバメ		4	4	2									10
ウグイス	2			2				3	2	1	2	4	16
エナガ							3	9		10	12	2	36
センダイムシクイ	1	1				2							4
メジロ	16		2	7		17	4	8	8	18	20	11	111
キクイタダキ	1												1
ムクドリ	1			5							2		8
シロハラ	4									1	2	5	12
アカハラ												1	1
ツグミ	1											1	2
キビタキ		1					1						2
ルリビタキ											1		1
ジョウビタキ								1					1
スズメ		8		1			20						29
ハクセキレイ									1		1	1	3
シメ										1		1	2
カワラヒワ	4		1	1							2	3	11
アオジ	6								1	2	9		18
カワラバト	4							1		11	2	1	19
ワカケホンセイインコ										2			
ガビチョウ												1	
種数	16	10	6	9	2	6	12	10	8	13	16	14	29
個体数	89	61	21	47	18	46	64	73	57	100	92	61	729

- ・種の配列は日本産鳥類目録改定第8版に準拠
- ・外来種は種類数と個体数に含まない

表. 市川市生物多様性調査(調査地:江戸川河川敷)2024年度

年	2024										2025			2024年度 計
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
日	2	10	3	5	2	6	1	5	3	7	4	10		
カルガモ							6						6	
コガモ												1	1	
ホシハジロ											2		2	
キンクロハジロ										3			3	
キジ	1	1	2					2					6	
ヒメアマツバメ					2								2	
ツツドリ							2						2	
キジバト		1	1	1	7	2	11	3	1			2	29	
オオバン	1									3	13		17	
カンムリカイツブリ											1		1	
コチドリ	1												1	
ユリカモメ	1												1	
セグロカモメ												1	1	
カワウ	1	1		1			1	1	2	7	1	1	16	
ダイサギ							1						1	
コサギ											1		1	
ハイタカ											1		1	
オオタカ										1			1	
トビ								1					1	
カワセミ		1	1	2	1		2	1		1		1	10	
コゲラ	1												1	
チョウゲンボウ				1				1	1				3	
モズ	2	2	1	3	1		3	7	4	1	1	3	28	
オナガ					6		2						8	
ハシボソガラス			2	1				2				3	8	
ハシブトガラス	5	11	11	1		3	7	1	2	3	2	7	53	
シジュウカラ	4	1			8	3	3		3	2		1	25	
ヒバリ		1											1	
ヒヨドリ	4	2	2	4	4	3	18	19	69	24	10	1	160	
ツバメ		1	20	6	19								46	
ウグイス	2	1	1	1	3	1		2	4	4		2	21	
エナガ						6		7				2	15	
オオヨシキリ		13	15	16									44	
セッカ		1	1				2						4	
メジロ	3						1	10	3		1	4	22	
ムクドリ			2	2			3				2	17	26	
シロハラ	1												1	
ツグミ	11										2	6	19	
キビタキ							1						1	
ジョウビタキ	1							1			1		3	
ノビタキ							1						1	
スズメ		1	5	1			1						8	
ハクセキレイ					1	1	1	2	4	3	2	1	15	
タヒバリ									2			4	6	
カワラヒワ		1						22	5	6			34	
ホオジロ	5	3	3	4	5			4		3	1	1	29	
アオジ	3							1	3	2	2	2	13	
オオジュリン										2		1	3	
カワラバト			27	2	7				18				54	
ガビチョウ									1					
種数	17	16	14	14	11	7	18	18	13	15	16	20	48	
個体数	47	42	67	44	57	19	66	87	103	65	43	61	701	

- ・種の配列は日本産鳥類目録改定第8版に準拠
- ・外来種は種類数と個体数に含まない

表. 市川市生物多様性調査(調査地:市川駅周辺)2024年度

年	2024									2025			2024年度 計
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
日	調査なし						15	29	13	14	4	14	
キジバト											1		1
モズ							1						1
ハシブトガラス							2	1	1	1	1	5	11
ヒヨドリ							6	9	9	4	6	9	43
メジロ								2		6	3	1	12
ムクドリ							2	1		2	2	3	10
ジョウビタキ										1			1
イソヒヨドリ								1					1
スズメ							10	14	7	5	2	7	45
ハクセキレイ							1	1		1	1	2	6
種数							6	7	3	7	7	6	10
個体数							22	29	17	20	16	27	131

- ・種の配列は日本産鳥類目録改定第8版に準拠
- ・外来種は種類数と個体数に含まない